

COLUMN

鎌倉の猫事情
第九十五話

毎朝グーニーをバッグに押し込んで獣医さんに通い始めて2ヶ月になります。近頃ではすっかりなじみ客となって、獣医院事情にも明るくなってきました。初めの頃、さんざん抵抗を示していたグーニーも、行く度に4人の獣医さん達から代わる代わる頭や鼻面を撫でてもらって悪い気はしていない様子です。4月に入ってから犬達の予防接種の時期となって、連日沢山のワンちゃん達が飼い主に連れられて来ていますが、その元気なワンちゃん達がいっせいに、やだ！やだ！って力の限り抵抗していますから、混雑した待合室はすごい騒ぎなのです。そんな騒ぎの中でもバッグの中のグーニーは、意外にも大人に落ち着いて座っています。去年の暮れに、少し調子が悪くなってから半年近く。グーニーをなだめすかしながら看病してきましたが、最近は何んか様子が違ってきました。なんだか・・・一昨年亡くなった父の時によく似ているのです。二年近く寝ついていた父が、どんどん穏やかになって、亡くなる一年くらい前に病室で見た父の顔がまるで仏のように輝いて見えた瞬間を昨日の事のように思い出します。そんな風にグーニーもなっていくような気がするのです。猫だって今風に言うと、ステージが上がる、という事があると思うのです。待合室でそんな事をぼんやり思っていると、隣にグーニーに良く似た猫を連れてた女の人が座られました。同病らしく、お互いの猫の身の上話などしていたら、「やっぱり、猫も霊がいるわよねえ」という話になりました。「ええ、そうですとも」なんて、話が弾んだのです。その方は猫も犬も沢山面倒を見ているのだそうですが、前に可愛がっていた犬が死んだ時、丁度旅行に出掛けていて死に目に会えなくて残念に思っていた所、半年後に夢にその犬が出てきたそうです。そしてその犬が、夢の中で腕に濡れた鼻面をくっつけたので冷たかったですと、その時の獣医さんに話したら「目が覚めた時、腕は濡れていましたか？」と、聞くので、濡れてなかったと答えると、「それは良かった。確かにその仔の霊ですよ。もし濡れてたら、それは犬の妖怪だからそれは、良くない」ですって。「へえーっ？」・・・

猫や犬にも霊はあるんじゃないかと思ってたけど、妖怪もある？・・・ やっぱり、獣医さんは、本当に、動物に詳しいんです。猫にも霊はあるし、きっと仏にもなると思う。じっと見つめるグーニーの目には、何か今までと違う光がある・・・

穏やかで、全てを許すように、心優しく見守る目、
そして、自らの運命を受け入れる静かな決意が・・・  to be continued



2010年4月21日

丁度この猫事情を書き始めた頃、グーニーの容態が変わりました。2日ほど前から具合は悪くなっていてけれど、今まで、何度も持ち直してきたので、まだ希望はあるかと、考えもしましたが、日々確実に弱っていたことは、感じていました。今グーニーは、目の前に静かに

横たわって、呼吸しています。昨日の深夜から立ち上がる力がなくなりました。時折、トイレに行こうと力の入らない四本の足で立ちとうしますから、少し力を貸してトイレに連れて行ってやると、力を振り絞って用を足すのです。

グーニーのきらきら輝いた生涯が、今終わろうとしています。私は、ただその光が確かに消えるまで、見守ることにします。来月号の猫事情九十六話が出る時には、グーニーはこの世にはいないでしょう。奇跡が起こらない限り・・・でも、もう無理に引き止めず見送ってあげたいと思っています。

鎌倉の猫事情 筆者より

information

まず、グーニーの病状をご心配頂いています、猫事情読者の皆様へ、心よりお礼を申し上げます。グーニー危篤の報は、「鎌倉の猫事情」にとって大きな出来事ではありますが、今後も猫事情は、鎌倉の裏路地をめぐる猫たちの事件を取り上げて、継続いたします。また、7月からのミルクホール休業期間もミルクホールタイムスは発行致します。休業中はHPの掲載等ご利用下さい。



Café good bye! Milk Hall

No.7 ミルクホールの小さな仲間たち

今月、165thミルクホールタイムスで、「グーニー危篤」の報を掲載することになってしまいました。今月号は、最後のミルクホールの蚤の市、アンティークショップの閉店のお知らせ、最後のライブの日程・・・とお別ればかりの掲載となりました。正直、グーニーとはもう少し一緒にいられるような期待もありましたが、色々なことが重なるのは浮世の常であります。37年間のミルクホールの日常にはいつも猫か犬が主のように暮らしています。オープン当初にいた犬は、名をガーニーといいなかなか立派な血統の猟犬でした。人懐っこくて結局誰かに連れて行かれてしまいましたが、その姿は、BAR ROOMの看板に、その名と、月へ向かって飛んでいく姿が描かれています。その看板は友人の吉野画伯によって作られたものです。ミルクホールのBARの名も、ガーニーズ・パトリー名づけられたのです。ガーニーが元気だった頃、ミルクホールの一角に、彫金アクセサリーの店「フルハウス」がありました。フルハウスで作っていた彫金アクセサリーは、70年代の女の子達にとっても人気があったのです。当時の店内の写真に、アトリエの机でくつろぐ、故田村隆一氏(詩人)の姿が残っています。時折散歩の途中に遊びにいらしたのでしょうか。その当時、沢山の猫がフルハウスとミルクホールで暮らしていました。が、最後まで生き残った猫が、先代のシュガーで、「鎌倉の猫事情」の第一話に登場しています。そして、当代きっての人気者のグーニー。グーニーは現スタッフ板垣くんの手によって、ミルクホールの看板の中にその姿が刻まれました。今後もその姿はミルクホールに伝えられて行くことでしょう。そして愛妻スイピーと沢山の元気な子供達。皆ミルクホールの小さな可愛い仲間達です。



LIVE

good bye!

ミルクホール 記念ライブ

by HALF MOON

琢磨 仁
琢磨 啓子

日本古来の侘しい音色と
JAZZの魂が
ミルクホールで出会い
ました。
満月の夜の幻想に
目を閉じ、
耳を傾けて
お聴きください・・・

満月の夜 琵琶と尺八の夕べ

琵琶・馬場鶴生

語り・パーカッション他

尺八・榎本秀水

フルート・テナーサックス・唄

ミルクホールの改築を記念する
最後のライブ。今のミルクホール
との別れを惜しんで、演奏します。



5/15 Sat. 19:30~

6/19 Sat. 19:30~

6/25 Fri. 19:00~

Information

ミルクホールタイムス総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」

No.001 No.100

ミルクホールタイムスを創刊号より¥1500
100号まで編集いたしました。
鎌倉の猫事情を第一話より第一部の
終わりまで掲載しています。



Milk Hall News 2010

2010年 5月16日

ミルクホール
アンティークショップ閉店

さよなら ミルクホール・フルハウス 2010年 7月 ミルクホール再生へ

ミルクホール37年間との別れ、そして、次世代への伝言

1972年に、ミルクホールは開店しました。そして37年間、ミルクホールは皆様と共に様々なドラマを描いてまいりました。今年7月、一旦その幕を閉じることとなります。又、ミルクホールのアンティークショップは5月1日から開催するミルクホールの蚤の市を最後に、5月16日に閉店いたします。アンティークショップは、ミルクホールが出来上がる2年前に彫金アクセサリーの店「フルハウス」としてオープンし、その後和洋家具を中心にした蚤の市を定期的に開催し、骨董店としてミルクホールを支えてきましたが、ミルクホール改築準備の為、一足先に閉めさせて頂きます。7月初旬には、ミルクホールは一旦なくなります。もう一度1972年に還って、37年前にそうしたように、壁を塗り柱を建て、一度外した窓やドア、カウンターを組み上げて、ミルクホールを今のこの形に再現致します。そしてミルクホールをこの先、子や孫の代まで、50年、100年と繋いで行きたいと願って止みません。いつまでも変わらずここにある事。それが、ミルクホールより、次世代への伝言です。



ミルクホールタイムス創刊号

さよなら ミルクホールの蚤の市

ミルクホール
骨董・ガラクタ市

蚤の市

懐かしいものならなんでも揃う、
ミルクホールの蚤の市。
大正・昭和初期の日本の暮らしの中にあつた
身近なもの、日本の木の香りの残る道具類
ほかにも色々ある。掘り出し物も、貴方次第！
さあさ、ミルクホールの蚤の市、
寄ってらっしゃい、見てらっしゃいな！



ミルクホール 最後の蚤の市

5/1 Sat. --- 16 Sun.

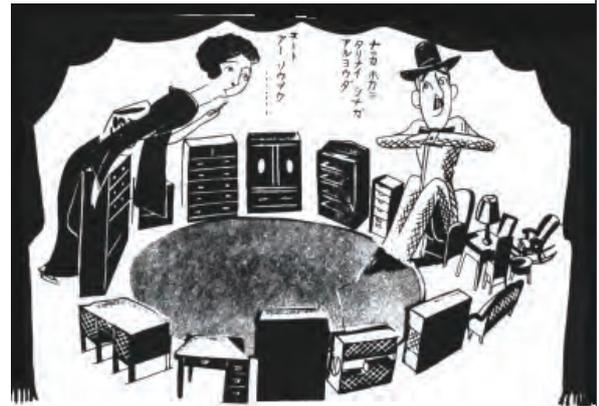
伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

ミルクホールにて、朝11時より夕方まで。毎日やっています。
最後の蚤の市です。売り切れごめんと、了承下さい。

all 50% off

着物・帯・和の小ものはさらに値引きします！

骨董品の一部のみ **30% off**



2010年5月16日をもって、
ミルクホールアンティークショップは
閉店し、7月からの改築工事の
準備に入ります。

ANTIQUE

♠ 和洋家具

- ★★大正時代ガラス水屋 2段
- ★★カウンターテーブル ミシン脚
- ★★明治・大正時代小箆笥各種
- ★明治時代衝立・昭和初期衝立
- ★★日本の建具・窓各種
- ★★明治～昭和文机各種
- ★裁縫台各種
- ★大正時代ガラスケース各種

♣ 古陶磁

- 伊万里・古伊万里・
明治べろ藍・大正色絵等々
- ★★古伊万里そば猪口
 - ★★幕末伊万里染付け色々
 - ★★明治錦絵七寸皿
 - ★★伊万里錦絵小皿5枚組
 - ★★織部長皿・瀬戸皿
 - ★★古伊万里皿・なます
 - ★★発掘陶片・山茶碗など
 - ★★中国・朝鮮の古陶磁

♥ 古民芸

- ★★大正時代鏡台
- ★★漆お椀・茶托・御膳
- ★★明治道具箱・樽など
- ★★李朝石鍋 珍品
- ★常滑壺 ★越前壺
- ★高麗・李朝の碗・壺
- ★アフガン石仏

◆ アンティーク

- ★★大正時代ランプシェード
- ★★大正・昭和初期色ガラス各種
- ★★明治・大正のガラス各種
- ★デッドストック 洋食器各種
- ★★50'S 眼鏡屋ポスター油絵
- ★★掛け時計・腕時計など
- ★★額絵いろいろ
- ★★トランク・バッグ
- ★★スタンドグラス

✂ 古布

日本の上質な絹もの
1mより 色々
大島紬・絞り・銘仙など

1mにつき1000円ほどの価格です。
ご自分で色々なものをお作りになる
方達のご要望に合わせて、多種多様
な日本の布地を取り揃えています。

端布組み合わせ
¥300より

✂ 半衿・帯揚げ

- ★無地の半衿 ¥500より
- ★銘仙・絞りなど ¥800より

古布・古裂

✂ 着物・アンティーク古着

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの
着物や、大島紬なども。始めて古着を買われる方
も、2枚目をご購入の方も、お買い物のチャンスです。

✂ 帯 名古屋帯・丸帯・半巾帯

